

魅力ある観光資源を 世界に

香取市議会議長

林 信行



新年明けましておめでとう
ございます。
市民の皆様には、健康で、
希望に満ちた初春を迎えられ
たことと、心よりお喜び申し
上げます。
日頃より、市議会活動に対

しましてご理解とご支援を賜
り、厚くお礼申し上げます。
香取市は、香取神宮、小野
川周辺の歴史ある町並み、豊
かな自然に育まれた景観と利
根川流域を利用した水上ス
ポーツなど、魅力ある観光資
源に恵まれています。
平成22年6月には、初めて
実測による日本地図を完成さ
せた伊能忠敬翁の地図や文書
などが、「伊能忠敬関係資料」
として国宝に指定され、平成
28年4月には、佐倉・成田・
銚子と共に「江戸を感じる北
総の町並み」として日本遺産
に認定、12月には、「佐原の

山車行事」がユネスコ無形文
化遺産に登録されました。
この素晴らしい観光資源を
日本のみならず世界に向けて
発信していくことが重要です。
今後は、増加している外国
人観光客の受け入れ、さらに
は東京オリンピック・パラリ
ンピック開催に伴う受け入れ
態勢の充実のため、様々な事
業が進められていきます。
市議会といたしましても、
さらなる外国人観光客誘致に
向け、地域や地元ボランティア
アをはじめ、市と連携を深め
ながら最善の努力をしてまい
ります。

また、開かれた議会のため、
新たな議会情報の発信につい
ても検討しています。
今後も、市議会のさらなる
活性化に取り組むとともに、
様々な課題の解決に向けた議
論を重ね、市民の皆様の期待
に応えるべく、誠心誠意尽く
してまいります。
新春に臨み、市民の皆様の
ご支援、ご協力をお願い申し
上げますとともに、本年が皆
様にとりまして幸せで実り多
く、大いなる飛躍の年となり
ますことを心よりお祈り申し
上げ、新年のごあいさつと致
します。

地域環境の充実を目指した 豊かなまちづくりへ

香取市長

宇井 成一



謹んで年頭のごあいさつを
申し上げます。
昨年は合併10周年を迎え、
市民の皆様と共に新たな一歩
を踏み出しました。
香取市のまちづくりを進め
る中で、少子高齢化や人口減
少、生活基盤施設の老朽化な

ど、様々な課題が山積してい
ます。将来を見据え、財政基
盤のさらなる強化充実を図り
ながら、香取市にとって必要
不可欠な事業について、優先
順位を踏まえ推進しているこ
ろでございます。
4月には、これまで数年に
わたり再整備を進めてきた水
郷佐原水生植物園が、「水郷
佐原あやめパーク」としてリ
ニューアルオープンします。
また、市内で初となる幼稚
園と保育所の両方の機能を併
せ持つ、幼保連携型認定こど
も園が小見川地区に開園しま
す。そして、「佐原駅周辺地区

活性化拠点整備事業」「橋ふ
れあい公園整備事業」「学校
統合整備事業」「水道施設整
備事業」などの継続事業や、
地域医療体制の充実にも取り
組んでおります。これらの事
業に対し、必要かつ十分な調
整を行いながら、引き続き、
市民の皆様が望まれている事
業に対し、精力的に取り組ん
でまいります。
後期基本計画にある「にぎ
わい創造プロジェクト」を推
進している中、昨年4月に佐
倉市・成田市・銚子市と共に
北総四都市の町並みが「日本
遺産」に認定されたとともに、

12月には「佐原の山車行事」
のユネスコ無形文化遺産への
登録が決定し、香取市全体の
魅力を国内外へ発信できる大
きな機会を頂き、地域振興に
つながるものと大変期待して
おります。
これからも、様々な課題に
正面から取り組み、地域の特
性を見つめ、魅力や資源を最
大限に生かしながら、市民の
皆様と意思を一つにして、誰
もが安全で安心して暮らせる
まちづくりを進めてまいります。
市民の皆様が温かいご支援、
ご協力を心からお願ひ申し上げ、
年頭のごあいさつと致します。

年頭のごあいさつ

平成二十九年 元旦



飛躍の年 香とり

今年、完成または継続中の事業の一部を紹介します。

あ みがわこども園
4月開園

小見川幼稚園と小見川中央保育
所は3月末日で閉園となり、4月
に新しい幼保連携型認定こども園
が開園します。小見川地区の子育
て支援の拠点施設を目指します。



あ やめパーク
リニューアルオープン

水郷佐原水生植物園が「水郷
佐原あやめパーク」に名称変更し、
4月に営業を開始します。あやめ
はもちろん、四季の植物やさまざ
まな遊具が年を通して楽しめます。



清 見屋跡地
複合公共施設の設計に着手

佐原駅周辺の市街地活性化のた
め、公民館機能、図書館、子育て
支援・福祉関連施設などを兼ね、
観光情報を発信するなど、人々が
交流する場の整備を進めます。

